

施策評価管理シート

施策体系	政 策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	2019(令和元)年6月作成	
	基本施策	5	快適な生活環境づくり	担当部局(室)名	部局長名
	施 策	4	上水道	上下水道部	山森 幹

1. 計画策定当初(H28)の状況と課題

Plan

- 人口減少や節水機器の普及などに伴い料金収入が減少傾向である中、施設更新・整備の財源確保のため、財政見通しを踏まえた事業運営が必要です。
- 河川の水質状況に応じた適切な浄水処理対応を迅速に行っていくため、関係機関との連携の強化及び水質検査体制、運転管理体制の一層の充実が必要です。

2. 施策の基本方針

Plan

- 「名張市水道ビジョン」に基づき、水道水を安定的に供給するため、老朽化施設・老朽管の更新・改良を進めるとともに、耐震性の向上を図るなど、災害に強い水道施設を整備するほか、水質管理体制の充実により、水道水源の保全や水質の向上に努め、安心して飲める良質な水道水を供給します。

○施策指標(目標)及び達成状況

Plan Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値(H26)	2016(H28)	2017(H29)	2018(H30)	達成率
上水道サービスに満足している市民の割合 (%)	目標	-	-	-	65.0	
	成果	62.2	75.6	75.1	79.3	100.0%
経年化設備率 (%) ※浄水場等における経年化設備の割合	目標	-	-	-	12.5	
	成果	31.4	19.6	12.5	12.5	100.0%
基幹管路における耐震管延長 (m)	目標	-	-	-	9,600	
	成果	9,015	9,067	9,590	9,590	98.3%

3. 課題解決への取組内容及び成果(平成28年度～30年度)

Plan Do

- ・名張地区市街地や桔梗が丘地区、国道165号等の老朽管を耐震管に更新しました。耐震管に更新することにより災害に強い水道施設の整備を推進するとともに、需要に見合った適切な配水管網を整備し、安定した水道水の供給を行いました。
- ・平成27年度から平成29年度の継続事業で富貴ヶ丘浄水場の機械・電気設備の更新を行いました。また、ポンプ場や配水池の老朽化した機械・電気設備の更新改良を計画的に推進しました。
- ・イオンクロマトグラフ水質分析装置を更新し、3項目が自己検査できるようになった結果、より迅速な水質検査が可能となりました。水質検査を迅速化することにより、水質基準の強化や水質検査体制の充実を図りました。また、水安全計画の運用により、カビ臭等の低減を図りました。
- ・安定的に事業が継続できるよう、中長期的な視点に立った計画的な事業運営に取り組むとともに、次期水道ビジョンの策定を進めています。

4. 成果を踏まえた課題や現状

Check

- ・平成23年度～令和2年度の10年間の計画期間とする名張市水道ビジョンに基づき、管路や施設設備の更新改良を実施しています。
- ・令和3年度からの次期水道ビジョンの策定に取り組んでいます。経年化により今年よりも管路等の更新需要が増大します。
- ・河川の水質状況に応じた適切な浄水処理対応を迅速に行っていく必要があります。
- ・人口減少や節水技術の進展により水需要が減少し、料金収入が減少傾向にあります。

5. 課題解決への取組内容(令和元年度)

Action

- ・経年化した滝之原ポンプ所の電気設備更新工事や百合が丘配水池の改修工事を計画的に推進します。
- ・県道上野名張線や桔梗が丘地区、富貴ヶ丘地区などの老朽管を耐震管に更新することにより、耐震化等災害に強い水道施設の整備を推進します。
- ・水安全計画の運用により、カビ臭等の低減を図ります。
- ・中期財政見通しを作成し計画的な事業運営に取り組むとともに、次期水道ビジョンの策定を進め、管路や水道施設の適正な更新を図ります。

6. 行政評価委員会による総合評価

Check

引き続き、第2次基本計画に掲げる目標達成に向け、取組を進めること。